“住まい塾だより”　第 84 号　2022.1 発行

この住まい塾だよりは、住まい塾の理念である “住宅は住み手、つくり手、設計者のスクラムワークである”との立場から発行しているものです。
ご意見、ご感想、今後取り上げて欲しい記事などありましたら e-mail: toiawase@sumai-jyuku.gr.jp までお寄せ下さい。

新たな年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年春のこと、建築を学ばれている学生の方からインターンシップを希望しているとの連絡をいただきました。連絡をくださったのは、15 年前《住まい塾》の設計で自宅を建てられたユーザーの息子さんで、《住まい塾》がきっかけで、木造住宅の世界に興味を持って下さったとのことでした。このようなご縁で、夏の間の 10 日間を住まい塾で学ばれたインターンシップ生の松井さんに体験談を寄せていただきました。

編集委員　湯川 千早

インターンシップを通じて　住まい塾の家で育った子供たち vol.3

松井 基嗣

僕は今回、《住まい塾》で二週間インターンシップをさせていただきました。

僕の実家は《住まい塾》で建てて頂き、僕はその家がつくる空間やその雰囲気が好きで、木質構造についても興味がありました。そこで、木質構造や伝統工法を大切にしている《住まい塾》にインターンシップをお願いしました。

インターンシップでは、主に図面のトレースを行い、現場見学や構造説明なども行って頂いたり、打ち合わせの様子や確認申請などの事務的な仕事なども見せて頂いたりと実にたくさんのことを体験しました。

図面トレースでは、実際に《住まい塾》で建てて頂いた実家の図面のトレースを行いました。今まで三年半ほど建築を学んできましたが、学校では木質構造について深く学んだことがなかったため、モジュールなどの基本的なことから教えて頂きました。また、実務で使われるような細かい図面を描くのは初めてで、枠や左官塗りの部分などの細かい部分を描くのにとても苦労しました。図面作成では適当に書いた一本の線が現場の人を困らせると聞いて、改めて一つひとつの線が意味を持っているということを実感し、学校で描く図面と実務の図面との違いを感じました。

現場見学では、刻みや建て方を見ることはできませんでしたが建具屋さんの工房を見せて頂いたり、実家の点検を行ったりしました。その都度、吉棟建設の亀井さんに枠や梁などについて色々と詳しく教えて頂きました。

今まで学校以外の場所で建築を学ぶということをあまりしてこなかったのでインターンシップで見るもの、聴くこと、触れるものがとても新鮮でとても楽しかったです。

この二週間はたくさんの学びや発見があり、濃厚な時間を過ごすことができて、とても充実したインターンシップになりました。皆さんから建築について色々なことを教えて頂き、視野がぐんと広がりました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。この経験を糧に日々精進していきます。

製図作業中

仕口についてのレクチャー

かどしん屋見学

隠岐の島の田舎料理『かどしん屋』開店いたしました

『かどしん屋』は《住まい塾》が建てて下さった自宅のリビングで始めた『ご飯屋さん』です。
主人の生まれ故郷の隠岐は、海からは穏やかな潮騒の音、空にはゆったりと漂うトンビ、、、時がゆっくり流れる所です。
そんな隠岐を、ここ池田でほんのちよっぴり感じていただければ♬そんな思いで開店いたしました。
《住まい塾》の舎(いえ)は木と土に包まれていて、隠岐と同じやさしさで一杯です。
ぜひ！『ゆっくりしてったらえ～だわ～』（隠岐弁）心よりお待ちしております。

角新 良二　睦実

所 在 地：〒563-0028 大阪府池田市渋谷１丁目２番４号
電　　話：０７２－７０３－０２８６
営業時間：９時頃～１９時頃まで
　　完全予約貸切制（１予約４名様程度まで）
営 業 日：基本、金～日ですが、その他の曜日でも相談可
ライン URL：https://lin.ee/m02KLAl

住まい塾の舎(いえ)と私　スタッフ紹介シリーズ vol.5

設計スタッフ　南野 容子

住まい塾の舎(いえ)に住んで 31 年、住まい塾スタッフになって 24 年になります。

「住むなら、無垢の木でがっちりと組んだ、自然素材の家がいい」、と無邪気に考えていたそんな時、朝日新聞の一面の広告欄で《住まい塾》と出会いました。建主になり、さらに図面を描くスタッフにもなるなんて想像もしなかったことでしたが、今振り返ると長いようであっという間だったように感じます。

生まれ育ち、現在も住む大阪は、建て込んでいて緑が少ない街です。でも、長い間にうちの庭の緑は育って、夏は蝉の声に包まれるようになり、秋には、完熟した柿の実を目指して次々と食べにくる鳥の姿も見られます。私は寝転んで、そんな窓の外や、濃い琥珀色になった緑甲板の天井をぼんやり眺めているのが大好きです。ブラックベリー、夏ミカンやビワなども少し収穫できるようになりました。家も私も歳を取り、必要となる修理はたくさんありますが、これからも少しずつ手入れしながら長く大切に使っていきたいと思っています。

仕事のほかに、最近は母の介護をするようになりました。94 歳という年相応に、ご飯を食べたことを忘れることもあるのですが、母にとって本当に大切な事、楽しい事はしっかり話していて、歳を感じさせないことがよくあります。母が以前絵手紙のお稽古で描いた扇子に、『あすのお洋服どんな色？ おしゃれしてね！』とあるのを見つけました。たしかにおしゃれ大好きな母は、お洋服を考えてウキウキする気持ちを忘れていない。 世知辛い現実はともかく、私も明日の現場にわくわくする自分でありたいな。そして少しでも長く現役でいたいなと思わせてもらっています。

・ホームページ　：　住まい塾
・YouTube　　：　住まい塾映像部
・blog　　：　信州八ヶ岳 高橋修一の『山中日誌』

《住まい塾》東京本部　〒353-0004　埼玉県志木市本町 2-4-50　℡048-472-4947
《住まい塾》大阪本部　〒561-0812　大阪府豊中市北条町 1-20-5　℡06-6334-4924
https://www.sumai-jyuku.gr.jp/